

鳥羽みなとまつり 実施報告

鳥羽みなとまつり実行委員会 25-2751

天候にも恵まれ、約65,000人のみなさまにご来場いただき無事に開催できました。物価高騰などの厳しい経済状況の中、多大なご協賛・ご協力を賜りました企業のみなさま、関係各位に心より御礼申し上げます。

翌朝の
ボランティア清掃活動

大会翌日には「鳥羽グリーン作戦」を実施。鳥羽市ボランティア連絡協議会主催・社会福祉協議会共催のもと、多くのボランティアのみなさまにより早朝から会場が美しく清掃されました。



伝統を継ぐ

金刀比羅宮鳥羽分社 神事

昭和31年に御分霊を迎え御鎮座いただいたことを祝し始まった本大会。当日は社殿での神幸祭、鳥羽マリンターミナルでの行宮祭、海上渡御（パレード）を執り行いました。今年度は新たにドルフィン公園ヘシンボルの「マル金マーク」を設置し、多くのかたにご覧いただきました。

地元グルメで賑わう
市民ブース

今年は駅前のガソリンスタンドがなくなり交番が移転したことから、跡地に市民ブースを開設。20団体が出店し、駅や道路からもまつりの賑わいを感じられるレイアウトでした。会場では、うい飯や牛串焼き、海鮮焼きなど地元食材を使った屋台が並び、大変な賑わいを見せました。



大迫力！鳥羽の海が燃える夜

45分間に約3,600発が打ち上がる大迫力の花火大会。伊勢志摩国立公園指定80周年を祝うカラフルな玉花火や温泉をイメージした演出、御木本真珠島75周年記念の「パールのシャンデリア」など、テーマ性に富んだ豪華な演出で鳥羽の夜空と海を彩りました。フィナーレは毎年恒例の大迫力花火で鳥羽の空と海が金色に埋め尽くされ、花火を観覧するお客様の大歓声が上がりました。

また「花火数当てクイズ」の正解(幸せの青いカエル花火)は5発でした！正解者の中から抽選で10人のかたに海女バルチケットの引換券を送付します。

